

# 平成 25 年度 北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

## 1. 趣旨

内閣府、北海道・東北ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

## 2. テーマ

今、私たちにできること ～もう一度考える、青年国際交流活動の成果と私たちの取組～

福島で本大会を開催するにあたり、私たち実行委員会としては、青年国際交流事業での体験と非営利団体として取り組んできた国際交流を中心とした様々な活動を振り返り、今後に繋げていきたいと考えました。社会に貢献できる団体を目指して歩んできた道を、更にどのように切り開いていくのかを共有する場にしたいと思います。

人は皆、「誰かの役に立ちたい」「困っている人のために何かをしたい」という思いを多かれ少なかれ持っていると思います。その思いを一人で形にするのは難しいものがありますが、人のつながりがそれを形にします。東日本大震災後においても、内閣府青年国際交流事業で得たネットワークを生かした活動が、正にそれを実感させてくれました。一人では困難なことを、仲間とともに達成するという体験は、人の成長に必要な不可欠のものであり、特に青少年には重要です。

今大会では、まず、開催県として「船と翼の会ふくしま」が行っている活動事例を紹介しながら、それらの活動がどのような過程を経て成功したのかを共有するとともに、非営利団体の運営に大切なものが何かを改めて確認しあいます。そして、人と人とのつながりをキーワードに、多様な視点から「今、私たちにできること」とは何かを考えていきます。2日目のワークショップでは、「各地域で自分たちが行う社会貢献活動」について皆さんの活動も紹介していただきながら、グループディスカッションを通して、より具体的・実践的なアクションプランを作成し、参加者の今後の社会貢献活動がより充実することをねらいます。

## 3. 主催

内閣府  
日本青年国際交流機構  
一般財団法人青少年国際交流推進センター  
船と翼の会ふくしま

## 4. 後援(予定)

福島県、公益財団法人福島県国際交流協会

## 5. 主管

平成 25 年度「北海道・東北ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

## 6. 期日

平成 25 年 7 月 13 日(土)～14 日(日)

## 7. 会場

公立学校共済組合飯坂保養所 飯坂温泉 あづま荘  
〒960-0201 福島県福島市飯坂町字中ノ内 1-1  
TEL:024-542-3381 FAX:024-542-8770

## 8. 参加対象者

内閣府、各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者及び国際交流に関心のある青少年等

## 9. 問合せ先

北海道・東北ブロック青少年の国際交流を考える集い実行委員長 日下部 誠一  
TEL 090-6223-1910 E-Mail funetotubasa@hotmail.co.jp

## 10. 参加費

宿泊(全日程参加) 14,000円 (懇談会費込、1泊2日朝食付)  
日帰り参加(懇談会費込) 8,000円 全体会・分科会のみ参加 1,000円  
小学生以下 食事・寝具あり 小学生以下 7,000円 幼児 6,000円  
食事・寝具なし 無料

## 11. 参加申し込み

参加申込書に記入の上、6月29日までに下記までFAX、Emailのいずれかでお申込みのうえ、参加費を下記口座にお振り込み下さい。

参加申込書は、<http://www.iyeo.or.jp/ja/schedule/index.html> または  
<http://www.iyeo.or.jp/fukushima> からダウンロードできます。

【申し込み先】 ①FAX 03-3639-2436  
②Email funetotubasa@hotmail.co.jp

【振込先】 口座名義:船と翼の会ふくしま  
①ゆうちょ銀行から送金  
ゆうちょ銀行 記号18290 番号21361531  
②他金融機関から送金  
ゆうちょ銀行 店名 八二八 店番号 828  
普通預金 口座番号 2136153

## 12. 日程

第1日目 7月13日(土)

12:00~13:30 国際交流事業関係者連絡会議(2F たかさご)  
13:30~14:00 受付  
14:00~14:30 開会式  
14:30~15:15 全体会「今、私たちにできること」  
発表者:日下部 喜美子(第6回日中青年親善交流(1984年))  
「船とつばさの会ふくしま」が行ってきた活動を事例としながら、組織の強みや弱点を理解しながら活動を組み立てていくことの重要性を再認識し、今後の私たちの活動の在り方を考える起点とします。  
15:30~17:00 分科会  
①カメルーン子ども応援プロジェクト「船と翼の会ふくしまがつないだ日本とカメルーン」  
講師:幕内 良子(第17回世界青年の船(2004年)、現在マラウイ在住)  
ファシリテーター:亀田 周(第32回東南アジア青年の船(2005年))  
カメルーンという遠い国の小さな村の子どもたちの夢を、経済的自立の観点から応援するプロジェクトを紹介します。  
②国際理解ワークショップ「船の中の大事件」  
ファシリテーター:菅野 裕子(第13回世界青年の船(2000年))  
国際理解教育の教材となり得る、青年国際交流事業の体験の一つを、ワークショップ形式で体験いただきます。

③葛尾村のふくろう作り

「避難所から巣立った100羽のふくろう」

講師:志賀幸男(葛尾村出身、現在福島市在住)

ファシリテーター:吉田 恵(第22回世界青年の船(2009年))

避難生活を送った福島県葛尾村の有志が感謝の意を表すため作った「ふくろう」のぬいぐるみのお話を伺い、ふくろう作りを体験します。

17:00～17:30 分科会報告

18:30～20:30 懇談会

第2日目 7月14日(日)

9:00～11:00 ワークショップ「社会貢献、いつやるの? いまでしょ!」

ファシリテーター:山崎 庸貴(第16回日本・韓国青年親善交流(2002年))

今大会2日間のまとめとして「今、わたしたちにできること」とは何かを、参加者全員で考え、具体的で実践的なアクションプランの策定を目指します。

11:00～11:30 帰国報告会

「平成24年度青年国際交流事業参加者によるパネルディスカッション」

ファシリテーター:山崎 庸貴

パネリスト:緑川 大志(第25回世界青年の船)

佐藤 昭子(第11回「青年社会活動アリーダー育成プログラム」)

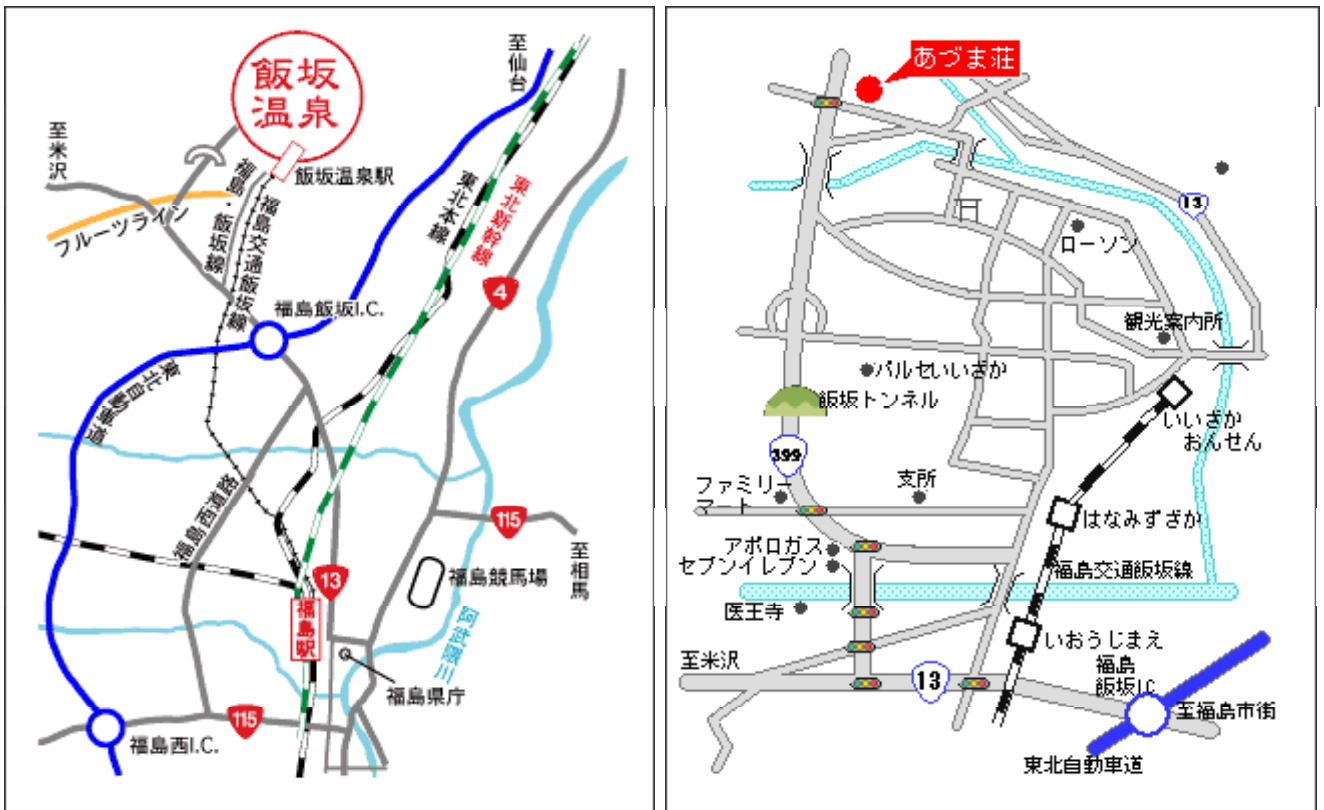
ほか2名(予定)

11:30～12:00 閉会式

13. 実行委員会

実行委員長	日下部誠一	賛助会員	福島県福島市
副実行委員長	長沼 舞子	賛助会員	福島県伊達市
事務局長	日下部喜美子	第6回日中青年親善交流(1984年)	福島県福島市
委員	宗像 邦司	第21回青年の船(1987年)	福島県田村市
委員	浦山 明浩	福島県青年海外派遣事業「若人の翼」(1993年)	福島県伊達市
委員	菅野 裕子	第13回世界青年の船(2000年)	福島県郡山市
委員	山崎 庸貴	第16回日本・韓国青年親善交流(2002年)	福島県福島市
委員	亀田 周	第32回東南アジア青年の船(2005年)	福島県郡山市
委員	大野 裕章	第32回東南アジア青年の船(2005年)	福島県会津若松市
委員	吉田 恵	第22回世界青年の船(2009年)	福島県福島市
委員	佐藤 昭子	第11回「青年社会活動アリーダー育成プログラム」(2012年)	福島県郡山市
委員	緑川 大志	第25回世界青年の船(2012年)	福島県福島市

(参考)アクセス



飯坂温泉駅からタクシー約5分。福島交通飯坂線(福島駅～飯坂温泉駅)を御利用の方は、  
<http://www.fukushima-koutu.co.jp/train/index.php>にて時刻表、運賃等を御確認いただけます。